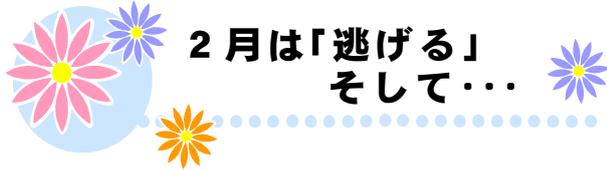




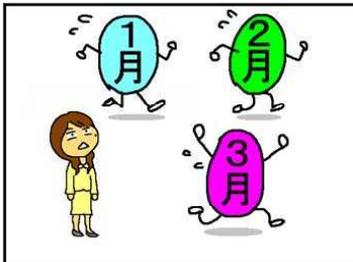
# 仲間をつなぐ思いやりの心

～温もりに満ちた学校へ～

校長室だより 2月号  
2026. 2. 25  
<不撓不屈の芦中生>  
・思いやりと温かな心  
・言葉で伝え心で聴く  
・自ら主体的に行動



2月も最終週になり、もう終わろうとしています。2日の月曜日に全校集会を行い、みなさんが1年生、2年生、そして中学生として、仲間と学校で過ごす日数はあとわずかであるという話をしてから、もう1ヶ月が経ったということです。もちろん2月



は28日までで少し短いですが、それにしても、私としてはあっという間に過ぎていった感じが

します。まさに「逃げていった」ようです。2月だけではなく、1月もあっという間に過ぎてしまった感覚があり、今週からは卒業式練習も行われ、来週はもう3月となります。このように、3学期は時間が早く過ぎていくような気がしませんか？毎年話しますが、この年明けからの3か月のことを「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」とい

言います。学校生活に当てはめると、時間が足りないと思うくらいに、「やらなければならないことがたくさんある」ということだと私は思っています。



4月からの「なりたい自分」になるために。そして、さらにその先の自分の進路や将来の生き方のために。未来を切り開いている自分の姿を明確にイメージして、今しなければならな

とにしっかりと目を向けて取り組んでほしいと想います。ただし、3月もあっという間に「去る」です。各学年、限られた時間を大切にして、お互いに支え合って充実した毎日を過ごしてください。

## ミラノ・コルティナ 冬季オリンピック閉幕

2月6日に開会式が行われた2026冬季オリンピックも、22日に閉会式が行われ、開会式前から行われていた競技も含めて激戦の19日間が終了しました。今回もアスリートの方々からたくさんの勇気と感動をもらいました。ヨーロッパ開催



のため、時差のせいで日本の夜から明け方にかけての競技が多く、ライブでの応援は寝不足との戦いでした。

初出場の勢いそのままに結果を残した選手や4年前の悔しさを見事に晴らした選手。反対に4年間の努力が結果に結びつかず悔し涙を流した選手や自分を信じて4年後の雪辱を誓う選手。連日様々なドラマが繰り広げられました。オリンピックは4年に1度。このことが、選手の思いを深め、観るものの感動を大きくする



のだと思います。みなさんにも、ぜひ自分に重ね合わせ、オリンピックから多くのことを学んでもらいたいと思いました。